

学校教育総合プランの実施計画シート (逗子市立小坪小学校)

○学校教育総合プランの3つの柱

○学校教育総合プランの項目

I 子どもたちの学力向上



1 個に応じた指導の充実

実施計画

①実施計画の重点等

- ・基礎学力の定着のために算数科において少人数指導を行い個に応じた基礎基本の定着を図る。また、計算力テスト・漢字テスト を行い分析を進め計算する力等の定着を図る。
- ・読解力向上の取り組みの推進では、コミュニケーション能力の育成を図るための研究・研修を行う。
- ・読書推進活動では、2004・5年度での研究実践を活用していくと共に、引き続き図書ボランティアの活動を継続して進める。
- ・支援教育の充実では、校内支援教育チームを活用し組織的取り組みを推進する。

②実施にあたっての留意事項、地域や保護者の協力など

- ・読書推進活動では、保護者の図書ボランティアによる全学年読み聞かせ活動など協力を依頼する。
- ・家庭学習において保護者の協力を依頼する。
- ・支援教育の充実では、各関係機関との連携を密にとり、ネットワーク化を図る。

行動プラン	H19(2007)年度予定内容	H20(2008)年度予定内容	H21(2009)年度予定内容
① 基礎学力定着のための 個に応じた指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・少人数指導やチームティーチング ・学習環境の整備 ・習熟度別や異質グループ等の学習形態を取りながら、個別指導を充実させる。T・Tの活用を図る ・家庭との連携をとりながら家庭教育の充実を図る ・計算テスト、漢字テストを行い、その分析を進める ・県・市の学力テストの活用方法の検討をする 	<ul style="list-style-type: none"> ・少人数指導やチームティーチング指導方法の工夫改善に取り組む ・個に応じた家庭学習の課題を持たせ取り組ませる ・家庭へも趣旨を伝え協力を依頼する ・年間を通して学年末診断テストを生かした指導を図る ・検討した結果を検証する 	<ul style="list-style-type: none"> ・少人数指導やチームティーチング指導方法の工夫改善の取り組みの総括 ・児童が自主的に課題学習の課題を持って取り組み、定着が図れるように指導する ・自ら課題に取り組む学習方法の定着を目指す ・分析にもとづいて、テスト内容の適否を検証する ・活用を年間の教育課程に位置づける
	評価 A ・ B ・ C	評価 S A ・ B ・ C	評価 S ・ A ・ B ・ C
	課題 ◆家庭学習の内容の工夫	◆家庭学習の取り組みの依頼を積極的にする	

行動プラン	H19(2007)年度予定内容	H20(2008)年度予定内容	H21(2009)年度予定内容
② 読解力向上の取り組みの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・学校図書館の図書や資料の積極的活用を図る ・コミュニケーション力の向上をめざす授業研究を行う 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校独自の図書資料作成や収集を進める ・コミュニケーション力の向上をめざす授業を実践で検証する 	<ul style="list-style-type: none"> ☆学校独自の図書資料の作成を行う ・授業に活用しやすい図書資料一覧を作成する ・コミュニケーション力の向上が図られているか検証の在り方を検討し、総括する。
	評価 A (B) ・ C	評価 S ・ A (B) ・ C	評価 S ・ A ・ B ・ C
	課題 ◆	◆独自の図書資料の作成までには至らなかった	

行動プラン	H19(2007)年度予定内容	H20(2008)年度予定内容	H21(2009)年度予定内容
③ 読書活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・小坪小の特色であり、日常活動を通して継続充実に努める 朝読書・アニメーション・ブックトーク等の活動 図書ボランティアによる読み聞かせ 図書指導員との連携等 ・小坪小選定図書の改訂版を作成する併せてその利用方法9月以降に低中高で検討を行う ・読書の幅の拡大を図る 	<ul style="list-style-type: none"> ・小坪小の特色であり、日常活動を通して継続充実に努める ・関係機関との連携を図る取り組みを進める ☆学級における読書活動の見直しをはかる。 ・改訂版の活用を積極的に推し進める ・展示方法の工夫をさらに進める 	<ul style="list-style-type: none"> ・小坪小の特色であり、日常活動を通して継続充実に努める ・関係機関との取り組みの中で、読書活の定着を図る ・活用事例を冊子にまとめる ・蔵書の充実に努める
	評価 (A) ・ B ・ C	評価 S ・ (A) ・ B ・ C	評価 S ・ A ・ B ・ C
	課題 ◆教員の取り組みの一層の充実		

行動プラン	H19(2007)年度予定内容	H20(2008)年度予定内容	H21(2009)年度予定内容
④ 支援教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・校内支援教育チームを活用し、組織的な取り組みをより推進する ・特別支援学級の学校としての役割を再検討する 	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的な支援教育体制について検討する ☆交流担当者会の計画的取り組み ・特別支援学級の役割を受け入れ学級だけでなく、学年学校の児童にも分かりやすく伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・対外機関との連携の在り方を検討する ・特別支援学級の児童との交流の機会を増やす
	評価 A (B) ・ C	評価 S (A) ・ B ・ C	評価 S ・ A ・ B ・ C
	課題 ◆情報共有のあり方について検討		

学校教育総合プランの実施計画シート (逗子市立小坪小学校)

○学校教育総合プランの3つの柱

○学校教育総合プランの項目

I 子どもたちの学力向上



2 健やかな心と身体の育成

実施計画

①実施計画の重点等

- ・学校教育目標「自分も人も大切に」に係わって、基本的行動目標・学年別行動目標を立て、年間を通して指導に当たる。
- ・学校教育目標、基本的行動目標、学年別行動目標を保護者、地域へ機会ある毎に広報し、連携を図る。
- ・縦割り集団活動を常に意識し、行事等教育活動に当たる。
- ・小坪の自然、人等地域を生かした教育活動の展開を図る。
- ・心の健康のための諸支援活動の充実を図る

②実施にあたっての留意事項、地域や保護者の協力など

- ・行動目標に関して保護者、地域の各団体の協力を依頼する。
- ・保護者会、PTAの会議、地域の各種会議、おたより等で積極的に学校教育目標や行動目標を語り、協力を依頼する。
- ・地域の方の授業への参加を積極的にお願ひする。
- ・組織的に心の支援活動に当たる

行動プラン

	H19(2007)年度予定内容	H20(2008)年度予定内容	H21(2009)年度予定内容
<p>① 基本的な生活習慣の育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的行動目標・学年別行動目標と繋がりを持った目標を立て、具体的方法を考えながら指導する ・使ってはいけない言葉を使わないよう指導の徹底を図る ・行動目標に関する保護者・地域への広報を積極的に行う 保護者会・PTA各種会議 小坪小HP・学校学年だより等 	<ul style="list-style-type: none"> ・前年度の反省を生かしながら、今年度の具体的方法を考える ・使ってはいけない言葉について、児童の実態を把握し、指導の評価を行う ・行動目標に関する保護者・地域への広報を積極的に行う ・地域への広報を図る 	<ul style="list-style-type: none"> ・発達段階に応じた指導の工夫を図る ・言葉遣い全体について考えて、検討してみる ☆言葉遣いについての指導の評価を行う ・行動目標に関する保護者・地域への広報を積極的に行う ・保護者、地域との双方向の取組を目指す
	評価 A・ B ・C	評価 S・A・ B ・C	評価 S・A・B・C
	課題 ◆	◆言葉について指導の評価までは至らなかった	

行動プラン	H19(2007)年度予定内容	H20(2008)年度予定内容	H21(2009)年度予定内容
②豊かな心を育む教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的行動目標・学年別行動目標と繋がりを持った目標を立て、具体的方法を考えながら指導する ・児童のコミュニケーション力を高めるために縦割り集団活動を行う 砂まつり、運動会、委員会、クラブ活動 児童朝会、なわとび大会等 ・行動目標に関する保護者・地域への広報を積極的に行う(特に挨拶等) 保護者会・PTA各種会議・地域の諸会議 小坪小HP・学校学年だより等 ・児童会が中心となり「あいさつ運動」に取り組む 	<ul style="list-style-type: none"> ・前年度の反省を生かしながら、今年度の具体的方法を考える ・コミュニケーションを高めるための具体的な手だてについて検討する ・行動目標に関する保護者・地域への広報を積極的に行う ・地域への広報を図る ・クラスでの「あいさつ運動」に取り組む 	<ul style="list-style-type: none"> 前年度の反省を生かしながら、今年度の具体的方法を考える コミュニケーションを高めるための具体的な手だてについて実践する 行動目標に関する保護者・地域への広報を積極的に行う 保護者、地域との双方向の取組を目指す 児童一人ひとりのあいさつ運動の具現化に取り組む
	評価 A (B)・C	評価 S・(A)・B・C	評価 S・A・B・C
	課題 ◆	◆あいさつについては児童と大人の感じ方が異なる	

行動プラン	H19(2007)年度予定内容	H20(2008)年度予定内容	H21(2009)年度予定内容
③豊かな体験活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・小坪の自然・人等地域とのふれあい活動の充実を図る ようこそ小坪小へ、お年寄りとのふれあい 返子音頭指導、昔のあそび、わかめの種付け、福祉体験等 	<ul style="list-style-type: none"> ・小坪の自然・人等地域とのふれあい活動の充実を図る ・福祉体験学習では、様々な障がいを持った方々とふれあいながら相互理解を深め、日常生活に生かしていけるようにする ☆ふれあい活動を教育課程に位置づける 	<ul style="list-style-type: none"> ・小坪の自然・人等地域とのふれあい活動の充実を図る ・全校での取り組みの精選を図る ☆ふれあい活動を系統立てて整理する
	評価 (A)・B・C	評価 S・A (B)・C	評価 S・A・B・C
	課題 ◆ふれあい活動全体計画の検討が必	◆実施内容を整理し、系統立てる必要がある	

行動プラン	H19(2007)年度予定内容	H20(2008)年度予定内容	H21(2009)年度予定内容
④健康教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・健康についての関心を高め、基本的生活習慣の定着を目指した年間指導計画を作成する ・食教育の年間計画を立て、実践し、検討する ・小坪小HPにて「おいしい給食」コーナーを設け広報と啓発を図る 各学級に今日の給食についてコメントを届ける 	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの学年で、実践検討する。 ・それぞれの学年としてのねらい・教科・方法等の検討をする ・小坪小HPにて「おいしい給食」コーナーを設け広報と啓発を図る 職員の共通理解を図り、継続的な取り組みとなるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小坪小学校としての健康教育の実践計画をもとに保護者と共に活動を推進する ・小坪小学校としての食教育の実践計画をもとに保護者と共に活動を推進する ・小坪小HPにて「おいしい給食」コーナーを設け広報と啓発を図る ・内容の工夫改善を図る
	評価 A (B)・C	評価 S・(A)・B・C	評価 S・A・B・C
	課題 ◆		

学校教育総合プランの実施計画シート (逗子市立小坪小学校)

○学校教育総合プランの3つの柱

○学校教育総合プランの項目

Ⅱ 課題に迅速に対応する学校づくり

1 多様な教育課題への対応

実施計画

①実施計画の重点等

- ・多様な教育課題への対応を図るため「総合的な学習の時間」における全体計画の中に学習活動を位置づけると共に、年間指導計画を明確にし職員全体で取り組めるよう推進していく。
- ・児童が安心して学校生活を送れるよう保護者・地域と共に安全対策に努め、児童自らが危険を回避できるような力の育成を図る。
- ・いじめや不登校等心に係わる課題に関しては早期発見、早期対応できる体制でのぞむ。

②実施にあたっての留意事項、地域や保護者の協力など

- ・多様な教育課題については、具体的計画を明確にして取り組む
- ・児童の安全確保に関しては、学校と保護者、地域との連携を深め、通学路の点検やパトロール等協力を依頼する。
- ・心の諸課題に関しては、関係諸機関等の連携ネットワーク化をより進める。

行動プラン	H19(2007)年度予定内容	H20(2008)年度予定内容	H21(2009)年度予定内容
①子どもの安全と安心の確保の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・年7回の訓練等を実施し、児童が安全に避難できるようにする 地震、火災、緊急時の引き渡し 不審者対応等の訓練を実施 ・小坪小への不審者侵入時の危機管理マニュアルをもとに、不審者対応訓練を実施し、意識を高める ・小坪小が避難所になった場合のマニュアルを作成する ・PTAの校外指導委員会と連携し、地域の安全マップの見直しを行い、家庭と共に安全指導を行う 	<ul style="list-style-type: none"> ・年7回の訓練等を実施し、児童が安全に避難できるようにする ・不審者対応等の訓練を実施を全校で取り組む ・マニュアルの見直しを図る ・小坪小学区避難所組織と協働で、マニュアルに沿った訓練を実施し、意識を高める ・地域の安全マップを生かした安全指導に取り組む 	<ul style="list-style-type: none"> ・年7回の訓練等を実施し、児童が安全に避難できるようにする ・訓練内容の工夫改善を図りながら継続的に取り組む ・マニュアルの徹底を目指す訓練を実施する。 ・マニュアルの見直しを行い、実質的なマニュアルを作成する ・地域の安全マップを利用して、児童自身に危険を回避する力をつける ☆メール配信システムを活用する
	評価 A (B)・C	評価 S・(A)・B・C	評価 S・A・B・C
課題 ◆不審者対応について教職員の連携の検討	避難所組織との協働までには至らなかった		

行動プラン	H19(2007)年度予定内容	H20(2008)年度予定内容	H21(2009)年度予定内容
② いじめ・不登校等への対応の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・「いじめチェックリスト」使って定期的に児童の生活を見つめる ・使ってはいけない言葉を使わないよう指導の徹底を図る ・コミュニケーション力の向上を目指す授業研究を行う ・校内支援教育チームを活用し、組織的な取り組みをより推進する 	<ul style="list-style-type: none"> ・「いじめチェックリスト」から見える気になる児童の対応の仕方を支援部で検討する ☆いじめチェックリストの内容の見直しを 使ってはいけない言葉について子どもたちの実態を把握し、指導の評価を行う ・コミュニケーション力の向上をめざす授業について実践で検証する ・校内支援教育チームが組織的な取り組みになっているか検証しながら推進していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「いじめチェックリスト」の項目の見直しを検討する ・言葉遣い全体についても考えさせる。 ☆言葉についての指導とその評価を行う ・コミュニケーション力の向上が図られているか検証の在り方を検討し、総括する ・より実効的な取り組みができるように組織図の見直しを図り、改善する。
	評価 A・ B ・C	評価 S・A・ B ・C	評価 S・A・B・C
	課題 ◆いじめチェックリストの改善	◆言葉について指導の評価までは至らなかった	

行動プラン	H19(2007)年度予定内容	H20(2008)年度予定内容	H21(2009)年度予定内容
③ 幼稚園・保育園・小学校・中学校の連携の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・年度末に関係保育園・幼稚園・中学校との情報交換を行い、連携を図る ・関係保育園・幼稚園とのふれあい活動を行う 運動会で未就学児とのふれあい種目文化祭での「どんぐり広場」 「ようこそ小坪小へ」でのふれあい ・久木中学校の職業体験の受け入れを行う 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業参観や授業交流を計画的に行い、いわゆる、小一プロブレム・中一ギャップといった課題の共通理解・解消を図る ☆児童生徒交流を計画的に行う。 ・活動のねらい・計画等の教育課程における単元のあり方を検討する ・職業体験の活動のねらいを共通理解しキャリア教育の充実を図る 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題解決に向けた教育課程の授業・工夫といった取り組みをする。 ・教育課程上の連係を検討する ☆キャリア教育の充実を図る ・キャリア教育に関する単元開発を行う
	評価 A・ B ・C	評価 S・ A ・B・C	評価 S・A・B・C
	課題 ◆中学校との児童生徒交流	◆実践しているがキャリア教育の充実までには至らなかった。	

行動プラン	H19(2007)年度予定内容	H20(2008)年度予定内容	H21(2009)年度予定内容
④ 国際理解教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・総合的な学習の中に位置づけ、IEAを活用し英語活動を中心とした国際教育を行う 1・2年生 4時間程度 3～6年生 16時間程度 	<ul style="list-style-type: none"> ・総合的な学習の中に位置づけ、IEAを活用し英語活動を中心とした国際教育を行う ・英語活動の単元開発を行う ☆15時間の教員研修を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・総合的な学習の中に位置づけ、IEAを活用し英語活動を中心とした国際教育を行う ・英語活動の全体計画の作成に取り組む ☆年間指導計画を作成する
	評価 A・ B ・C	評価 S・ A ・B・C	評価 S・A・B・C
	課題 ◆新指導要領実施に向けての準備		

行動プラン	H19(2007)年度予定内容	H20(2008)年度予定内容	H21(2009)年度予定内容
⑤ キャリア教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的行動目標・学年別行動目標を通して生き方の指導を行う ・朝会において生き方の指導を行う 	<ul style="list-style-type: none"> ・教育課程の中からキャリア教育の視点で単元開発を行う ・身近な人材を生かしながら、生き方の指導を行う 	<ul style="list-style-type: none"> ☆キャリア教育の視点で単元開発を行う ・単元を授業実践していく ・地域の人材を生かしながら、生き方の指導を行う
	評価 A・ B ・C	評価 S・A・ B ・C	評価 S・A・B・C
	課題 ◆キャリアの視点に立った教育課程の見直し	◆キャリア教育の視点が浸透していなかった	

行動プラン	H19(2007)年度予定内容	H20(2008)年度予定内容	H21(2009)年度予定内容
⑥ 福祉教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・小坪の自然・社会・人的環境を生かして、学年に応じた取り組みを行う 1年 保・幼稚園児と 2年 長生会の方と 3年 長生会・東流・小坪漁協の方と 4・5年 福祉協議会の方と 6年 ろうあ協会の方と 	<ul style="list-style-type: none"> ・小坪の自然・社会・人的環境を生かして、学年に応じた取り組みを行う ・学年間の連携を図る 	<ul style="list-style-type: none"> ・小坪の自然・社会・人的環境を生かして、学年に応じた取り組みを行う ・全体計画作成に取り組む
	評価 A・ B ・C	評価 S・ A ・B・C	評価 S・A・B・C
	課題 ◆発達段階に応じた計画的指導		

行動プラン	H19(2007)年度予定内容	H20(2008)年度予定内容	H21(2009)年度予定内容
⑦ 環境教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・4年を中心として全校でミックスペーパーの回収、梱包、計測等に取り組む 「総合的な学習の時間」での実践を進める 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業を通してそれぞれの学年で実践可能な事例を整理する ☆委員会の取り組みの検討 	<ul style="list-style-type: none"> 整理して実践事例を資料に残していく
	評価 A・ B ・C	評価 S・ A ・B・C	評価 S・A・B・C
	課題 ◆委員会における主体的な取り組み		

行動プラン	H19(2007)年度予定内容	H20(2008)年度予定内容	H21(2009)年度予定内容
⑧ 情報教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・「コンピューターに慣れ親しみ、正しい使い方を身につけさせる」の目標のもと、各学年年間指導内容を総合的な学習の時間を中心に指導する 	<ul style="list-style-type: none"> ・年間指導計画の工夫改善をする ☆パソコン室の整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・学年の段階を踏まえた年間計画を工夫する
	評価 A・ B ・C	評価 S・ A ・B・C	評価 S・A・B・C
	課題 ◆パソコンの環境整備	パソコン入れ替え後、慣れるのに時間がかかった	

学校教育総合プランの実施計画シート (逗子市立小坪小学校)

○学校教育総合プランの3つの柱

○学校教育総合プランの項目

Ⅱ 課題に迅速に対応する学校づくり

2 地域に開かれた学校づくり

実施計画

①実施計画の重点等

- ・地域に開かれた学校づくりに向けて、情報教育担当を設け、学校ホームページの更なる充実を図る。
- ・あらゆる機会をとらえ、保護者・地域への学校教育目標等の周知を今一步進める。
- ・小坪の自然、社会、人等地域の資源を十二分に生かした教育活動を展開する
- ・次年度につながる学校評価を行う

②実施にあたっての留意事項、地域や保護者の協力など

- ・常日頃、地域の諸団体・個人とのネットワークを心がける
- ・地域の方が積極的に学校に足を運んでもらえるように工夫する
- ・常に次につながる評価を心がける

行動プラン	H19(2007)年度予定内容	H20(2008)年度予定内容	H21(2009)年度予定内容
① 地域への情報発信と 学校公開の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・小坪小HPでは直近の学校情報を及び地域の情報をアップするよう努める ・行動目標に関する保護者・地域への広報を積極的に行う ・保護者会・PTA各種会議・地域の諸会議 小坪小HP・学校学年だより等 ・学校だよりの自治会・区会への配布・回覧を依頼する 	<ul style="list-style-type: none"> ・HPの内容について、職員で分担しながら精選を図る ・行動目標が保護者・地域の共感を得る方法を工夫する ・回覧したお便り等が双方向になるような方法を工夫する 	<ul style="list-style-type: none"> ・HPの内容について検討し精選を図る ・行動目標が保護者・地域の協力を得た取り組みになるよう工夫する ・地域の方々の学校への意見を取り入れる方法を工夫する
	評価 A・ B ・C	評価 S・ A ・B・C	評価 S・A・B・C
	課題 ◆地域への情報発信の具体的な取り組み		

行動プラン	H19(2007)年度予定内容	H20(2008)年度予定内容	H21(2009)年度予定内容
② 地域教育力の活用	<ul style="list-style-type: none"> ・小坪の自然・人等地域とのふれあい活動の充実を図る ようこそ小坪小へ、お年寄りとのふれあい 逗子音頭指導、昔のあそび、わかめの種付け、福祉体験等 ・図書ボランティア・クラブボランティア・花壇ボランティアを継続する 	<ul style="list-style-type: none"> ・ふれあい活動の教育課程上位置づけを明確にし、単元開発をする ・図書ボランティア・クラブボランティア・花壇ボランティアの活動内容を検討する 	<ul style="list-style-type: none"> ・開発した単元を検証改善していく ・図書ボランティア・クラブボランティア・花壇ボランティアを活動内容を改善する
	評価 A・(B)・C	評価 S・(A)・B・C	評価 S・A・B・C
	課題 ◆活動の振り返りや次時への連携		

行動プラン	H19(2007)年度予定内容	H20(2008)年度予定内容	H21(2009)年度予定内容
③ 学校評価を生かした学校の改善	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度行った学校評価システムを再検討し実施する ・内部評価・外部評価のあり方を再検討し実施する ・評価結果の保護者・地域への公開のあり方を再検討し、実施する 	<ul style="list-style-type: none"> ・PDCAのサイクルを確立する ・外部評価委員会の設置を目指していく ☆学校評価委員会の設置 ・評価結果のとその活用について公開する 	<ul style="list-style-type: none"> ・PDCAのサイクルをより短期間にするため工夫改善する ☆学校評価委員会の活用 ☆第三者評価を試行校として実施 ・評価の公開について意見を求める方法を検討する
	評価 A・(B)・C	評価 S・(A)・B・C	評価 S・A・B・C
	課題 ◆		

学校教育総合プランの実施計画シート (逗子市立小坪小学校)

○学校教育総合プランの3つの柱

○学校教育総合プランの項目

Ⅲ 教員の指導力向上



1 教員研修・研究の充実

実施計画

①実施計画の重点等

- ・授業研究の充実では、「コミュニケーションの向上」をテーマに低・中・高・あおぞらブロックで研究を進め、一人一回を目標に授業公開していく。
- ・授業評価の活用では、特に算数科において、昨年度実施した一斉テストの結果を分析し、基礎・基本の定着をはかるために活用していく。
- ・地域教材の積極的活用・開発の促進については、地域の素材の教材科をめざし、講師を招き研修会を行う。
- ・研修事業の充実については、地域素材を生かした授業づくりにつながる研修及び、教材研究、授業づくりといった観点から夏季休業中に研

②実施にあたっての留意事項、地域や保護者の協力など

- ・地域素材の教材化にあたって、地域の方の話を聴いたり、地域講師として協力を依頼する。
- ・初任研の授業参観に当たっては、授業参観後必ず話し合いを持つ。

行動プラン	H19(2007)年度予定内容	H20(2008)年度予定内容	H21(2009)年度予定内容
① 授業研究の充実	・「コミュニケーション力の向上を目指す授業研究」をテーマに学校研究を推進し、授業を互いに公開し合い、授業研究の充実を図る	・前年度の研究成果の上に「コミュニケーション力の向上を目指す授業」についてさらに共通理解を深め授業実践で検証する ☆外部講師を招き研究を進めると共に、研究の成果を公開する。	・コミュニケーション力の向上が図られているかどうかの検証の在り方を検討することを通し、研究の総括をする
	評価 (A)・B・C	評価 S (A)・B・C	評価 S・A・B・C
課題 ◆			

行動プラン	H19(2007)年度予定内容	H20(2008)年度予定内容	H21(2009)年度予定内容
② 授業評価の活用	・算数科での一斉テストの結果を分析し、基礎基本の定着に活用する	・一斉テストの結果の積み重ねから、テストの適正化について検討する ☆評価規準の見直しと指導要録の評定の検討	・一斉テストの結果を年間指導計画作成に生かす ☆評価規準の作成と指導要録の評定の検討
	評価 A (B)・C	評価 S・A (B)・C	評価 S・A・B・C
	課題 ◆学習状況調査の結果の生かし方を ◆評価規準については継続して取り組む		

行動プラン	H19(2007)年度予定内容	H20(2008)年度予定内容	H21(2009)年度予定内容
③ 地域教材の積極的活用・開発の促進	・小坪地域の歴史的遺産や自然に対する理解をさらに深めるために講師を招き、地域めぐり等を実施する	・以前に作成した地域素材の教材化したものを見直し検討する	地域素材を生かした授業を試みる
	評価 A (B)・C	評価 S・(A)・B・C	評価 S・A・B・C
	課題 ◆地域素材教材化の取り組み		

行動プラン	H19(2007)年度予定内容	H20(2008)年度予定内容	H21(2009)年度予定内容
④ 研修事業の充実	・夏季休業中を中心に、「コミュニケーション力」をテーマとした研修を行い、理論と実践の両面からの研修事業の充実を図る	・現職研修の充実を目指し、校内での伝達講習を積極的に行い、指導力の向上を図る	前年度に引き続き、現職教員の研修を計画的に行う
	評価 A (B)・C	評価 S・(A)・B・C	評価 S・A・B・C
	課題 ◆		